

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和4年度分）

施設	名称	栃木市大平児童館
	所在地	栃木市大平町蔵井2007番地1
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	学校法人しずわでら学園
	所在地	栃木市岩舟町静和1151番地4
	主な業務内容	認定こども園しずわでら幼稚園、認定こども園ふじおか幼稚園 子育て支援センターもりのカフェの運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み						
評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか				
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか				
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか				
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者アンケート実施回数			1回	1回	
	利用者アンケート数			100件	123件	
	事業参加者アンケート実施回数			90回	85回	
	事業参加者アンケート数			300件	379件	
	意見反映数			2件	2件	
	苦情発生件数			0件	0件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<p>①児童福祉法第35条第3項に基づき、児童を健全に育成することを目標として施設運営方針を定めました。また、事務室に掲示し職員が常に意識できるよう努めました。</p> <p>②施設の案内を玄関や各部屋に表示するとともに、ホームページやSNS等でも積極的に案内することで、誰もが利用しやすいようにしました。</p> <p>③利用者満足度向上のため、夏休み中の利用者アンケート調査を123件、また、各種イベントごとの参加者アンケート調査を379件実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や縮小をしましたが、アンケート数は計画値を上回りました。更にアンケート結果から2件の利用者の意見を児童館運営業務に反映しました。</p> <p>④意見箱及び苦情申出窓口を設置し、利用者の意見を把握するよう努めました。苦情処理の基本的なマニュアルを作成し、苦情があった場合スムーズに対応できるよう努めました。</p>					
施設所管課コメント	<p>・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に理解し、職員の努力により利用者から感染者を出すことなく適正な運営ができているとともに、コロナ禍によって利用者も不安を抱える中で苦情がなかったことは高く評価できる。</p> <p>・施設案内をSNS等で積極的に発信するなど、誰もが利用しやすい環境整に努めていることもあり、市内で利用者数が多い状況を維持している点は評価できる。今後も利用者アンケートや意見箱、利用者の声を通じて得た意見を反映させ運営に当たっていただきたい。</p> <p>・日頃から利用者の意見を聴きながら運営ができているとともに、苦情処理の基本的なマニュアルが作成されており、緊張感を持って業務に当たっていることから、令和4年度については苦情発生件数がなかったものと思われる。</p>					

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		13,000人		14,216人		
	じどうかんだより発行数		18,000部		18,000部		
	SNS掲載件数		100件		221件		
	新規事業数		2事業		4事業		
	地域との協働事業数		3事業		4事業		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①年間の事業計画に基づいて事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が5事業12回、代替えが1事業1回ありました。また、8月に2日間、12月に1日間臨時休館となりましたが、職員が1名常駐し、電話等の対応をいたしました。</p> <p>②毎月発行のじどうかんだよりに加え、ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ・Twitter・LINE・Instagramなどを積極的に利用し、幅広い周知を図りました。特にInstagramでの周知に力を入れ、SNS掲載数が計画値を大きく上回りました。また、事業の様子を取材していただき、地元のフリーペーパー等に20回の掲載実績がありました。多数の掲載があったことで、よりたくさんの方に児童館の楽しさを伝えることができました。</p> <p>③児童館条例で定められている開館時間を延長することで、施設の利便性を高め利用者の拡大を図りました。新規利用者の増加に向け「出前児童館」や父親の育児推進事業としてパパ向けの事業等を開催しました。</p> <p>④地域住民などの協力で開催している「こどもフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小したため、ボランティアの受け入れも最小限にしました。また、ボランティア団体ハンズボラによる「アロマハンド&ヘッドマッサージ」も感染症の影響で、急きょ中止やボランティアの欠席が多かったため、ボランティア参加人数は計画値を下回りました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により事業計画どおりの運営ができなかったものの、SNSを活用した広報活動、開館時間の延長、更には新規利用者の確保のためのパパ向けの事業等を開催することで、前年度と比較しても利用者が増加させている点は評価できると考える。</p> <p>・新型コロナの影響により規模は縮小となったものの、地域住民と協働で行うイベントを開催することができ、更に地元のメディアからの取材を通じて、児童館の取組や魅力を広くPRをすることができている。今後も地域住民等と協力しながら、児童の健全育成を図るとともに、地域に開かれた児童館運営に努めていただきたい。</p> <p>・次年度は新型コロナに係る規制が緩和され、利用者の増加が見込まれることから、引き続き緊張感を持ちながら業務に当たり、新規利用者の確保するとともに、利用者の満足度の向上が図られるような事業を展開されることを期待したい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	事業費削減額		43,410円		△12,615円		
	事業費削減率		2%		-1.50%		
	備品等更新数		7回		1回		
	見積合わせ実施数		5回		5回		
	施設修繕数		7回		2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①指定管理業務にかかる収支について専用口座を設け、出納責任者を2名配置し確認体制を強化することにより、正確な管理を行いました。</p> <p>②リサイクル品の使用によるイベント消耗品の削減に努め、施設の充実を図りました。光熱水費の効率的な利用にも努めましたが、電気代や燃料費の高騰により経費削減に繋げることができませんでした。</p> <p>③業務委託に関して、経費削減やサービス向上等考慮し、委託業者との信頼関係も築くよう努めました。庭のフェンス取付工事に伴い、急きょ垣根の撤去を業者に依頼することになり、業務委託料が計画値を大きく上回りましたが、利用者がより安全に庭の利用ができるようになりました。</p> <p>④安全・安心に考慮し、危険箇所の修繕や備品の交換等を行いました。また、エアコンの清掃を職員や業者にて定期的に行い、温度管理を徹底することで、省エネにも力を入れました。備品については、キーボードの故障に伴い新規購入し、修繕については藤棚下の砂場の補修と滑り台の塗装や補修を行いました。備品は物を大切に使用することに努め、自分たちで積極的に修理しながら使用したことで、備品更新数は最小限に抑えられました。また修繕についても、できるものは職員が修繕を行い、施設修繕数を最小限にできるよう努めました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設経費の節減及び施設の維持管理について、適切に実施されているものと理解する。 光熱水費の高騰の影響により目標としていた経費削減額には届かなかった。しかしながら、そのような中でも備品等の使用及び修繕方法を工夫し、経費削減に努めている姿勢は評価できると考える。 物価高騰により財源が限られる中、少ない修繕回数及び経費により藤棚下の砂場や滑り台の利用が可能になり、児童への遊びの場の提供できるようになったことは、児童館サービスや利用者満足度の向上が図られたと考える。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値		
	人員配置数		1日2名以上	1日2名以上		
	1週間の平均勤務時間数		40時間以内	40時間以内		
	職員研修会開催回数		1回	1回		
	研修会参加回数		3回	5回		
	経常収支比率		95%	97%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>①栃木市児童館条例並びに基本協定書に基づき、施設の運営に必要な職員配置を行いました。総括責任者として館長を1名配置、業務従事者すべての者が児童厚生員（保育士、幼稚園教諭等）の資格を有し、常に2名以上の人数配置をしました。</p> <p>②職員研修会を実施、また児童館連絡協議会主催の研修会にも進んで参加しました。</p> <p>③④健康保険料・厚生年金保険は私立学校共済保険に加入、また各種税金も適切に納めました。</p> <p>⑤別紙にて</p>					
施設所管課コメント	<p>・適正な人員配置に基づき運営が実施されており、コロナ禍においても研修参加を通じ個々人の能力の向上を図っており児童館運営への熱意を感じる。特に、新型コロナ対策を徹底しつつも、平均勤務時間は計画のとおり適正に運営されていることは評価できる。次年度は新型コロナに係る制限が緩和され、施設利用者の増加が見込まれることから、今後も利用者の満足度を高める運営を目指し業務に取り組んでいただきたい。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回		12回		
	事故発生件数		0件		0件		
	消防訓練実施回数		12回		12回		
	消防訓練参加人数		60人		88人		
	水害に対する訓練実施回数		2回		2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検に加え、月に1度定期点検を実施、また年に1度専門業者に外の遊具の安全点検を依頼し、修繕を適宜実施しました。また、消防設備などの法定点検も実施しました。</p> <p>②安全管理マニュアルを各場面ごとに作成し、事務所に保管するとともに、職員に配布し、話し合いの時間を設け、常に的確な対応ができるよう努めました。</p> <p>③消防の総合訓練の他、消火器等の点検を毎月実施、水害に対する訓練も年に2回実施し、職員や利用者の防災意識を高めるものとなりました。</p> <p>④個人情報保護マニュアルに基づき、適切に管理しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設管理については概ね適切に行われているものと理解します。</p> <p>・令和4年度については水害に備えた訓練を行うなど、防災に関する高い意識を持ちながら運営ができていることは評価できる。今後も、突然の地震等の災害に対応できるように訓練等を通じ、万全の体制を整えていただきたい。更に、次年度は新型コロナによる制限が緩和されるものの、引き続き危機感を持ちつつ、必要な感染対策を講じながら運営に当たっていただきたい。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	12	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	89	84	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産総額	1,295,938,794	1,295,938,794	1,300,404,768
売上高	497,703,428	497,703,428	492,064,888
経常利益	△ 14,336,049	△ 14,336,049	26,624,413
当期利益	△ 14,884,809	△ 14,884,809	26,624,413
経常収支比率	97.2%	97.2%	105.71%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常費用	512,112,607	512,112,607	465,524,637
経常収益	497,776,558	497,776,558	492,149,050
経常収支比率	97.20%	97.20%	105.71%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・収入は増加傾向にあり、経費もやや削減できております。経常収支比率は100%下回っている年度もありますが、借入金返済額は減価償却費を下回っておりますので、キャッシュフローベース上は問題ないと思われま。